

平成30年度

事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設 かたくりの里は、全国身体障害者施設協議会に加盟する施設として、『障害者の権利に関する条約』の理念を遵守し、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり」という全身協の基本理念を実現するため、ここに倫理綱領として定めます。

全国身体障害者施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

1. 私たちは、基本的人権を尊重し、利用者一人ひとりのその人らしい生活を支援します。
2. 私たちは、日々の実践を検証し、利用者に安全、安心、快適なサービスを提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観をもって、良質なサービスを提供します。
4. 私たちは、利用者に必要な情報をわかりやすい方法で提供し、要望にはすみやかに対応します。
5. 私たちは、広く重度の障害のある方々のためのサービスを開発し、提供します。
6. 私たちは、重度の障害のある方々をとりまく環境の改善と福祉文化の醸成に努めます。
7. 私たちは、関連機関・団体、地域住民等とともに、事業を展開します。
8. 私たちは、透明性を堅持し、健全かつ活力ある経営にあたります。

社会福祉法人 すこやか福祉会
職員行動規範
～ 利用者の感動と楽しい職場のために ～

前文

私たち社会福祉法人すこやか福祉会職員は、自らの行動に責任と自覚を持ち、地域社会の一員として行動するための基本的な指針として「社会福祉法人すこやか福祉会 職員行動規範」を定め、これを職員相互で常に確認し合い遵守します。

1 社会的ルールの遵守・コンプライアンスの徹底

私たちは、強い意志の下、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 個人の尊厳

私たちは自らの先入観や偏見を廃し、利用者の個性や気持ちを真摯に受け止め、誠実な態度で、利用者一人ひとりに接します。

3 人権の尊重

- (1) 私たちは、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、個性や感性の違いを認め、全ての人が平等であるという考えの下に行動します。
- (2) 私たちは、体罰、暴言、威圧的・強制的対応、無視、差別的対応、嫌がらせ(ハラスメント)、身体拘束、プライバシーの侵害など、人権侵害行為は決して行いません。
- (3) 私たちは、人権侵害行為や虐待を発見した場合は、直ちに上司に報告し、「虐待防止委員会」を速やかに開催し適切に対応します。

4 安心で安全な暮らしの保障

- (1) 私たちは、リスク管理に万全を期し、事故防止および安全の確保に努めます。
- (2) 業務上知り得た個人情報決して外部に漏らしません。退職後も同様とします。

5 自己選択・自己決定権の保障

私たちは、利用者の特性に応じた働きかけや説明を行い、可能な限り自己選択・自己決定ができるように支援します。

6 満足度の高いサービスの提供

私たちは、利用者の意思やニーズを十分に把握し、「やすらぎ」と「生きがい」のある生活が送れるようにサービスを提供します。

7 社会参加の促進

私たちは、社会資源の活用や情報提供を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めます。

8 専門性の向上

- (1) 私たちは、利用者支援の専門性を高めるため、常に努力と自己研鑽に努めます。
- (2) 私たちは、各種資格の取得に努め、専門性の向上を図ります

平成30年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

	ページ
1 理念・基本方針	1
2 平成30年度事業方針	1
3 障害福祉サービス事業	3
施設入所支援	3
生活介護	3
短期入所	4
指定特定相談支援事業	5
4 職員体制	6
5 生活支援課業務報告	6
生活支援係	6
入所支援係	7
地域支援係	7
療護係	9
相談支援係	14
業務委員会	15
権利擁護	15
安 全	16
生活向上	20
防 災	22
研 修	23
日中活動	26
情報管理	30
業務検討会	31
6 外部行事参加状況	32
7 補助金・助成金事業報告	33

1 理念・基本方針

○施設の目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

○施設の方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次的な障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 平成30年度事業方針

- (1) 「やすらぎと生きがい」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2) 利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3) 利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4) 利用者が主体的に活動できるよう自治組織と協力する。
- (5) 計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6) 利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るよう努める。

■平成30年度 中期方針の振り返り

□福祉サービスの自己評価

- ・身障協ケアガイドラインの自己評価より抽出された課題についてPDCAサイクルを意識して検討を重ねることができた。
- ・業務検討会において、新潟県第三者評価基準についての説明会を実施し、メンバーによる自己評価を実施した。来年度は2021年の第三者評価受審に向けた取り組みを施設全体で取り組んでいく。

□職員のキャリアアップ、研修制度の確立

- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）に職員1名を派遣した。
- ・新人職員マニュアルを更新し、より充実した新人研修を実施することができた。プリセプター制度を導入することで、指導職員も、共に成長することができた。
- ・法人として人事考課制度導入に向けての検討を行った。

□権利擁護事業への取り組み

- ・不適切な支援に関する対応マニュアルの更新し、取り組みを強化した。
- ・成年後見制度利用支援を行った。
職員会議にて報告し、ケース記録に残すことで全職員への周知を行った。
- ・従事者に対する虐待の防止を啓発・普及するための研修の実施
権利擁護委員会より、毎月の職員会議にて虐待防止のための意識向上ポイントを報告した。

□防犯・防災体制の確立

- ・防犯訓練の実施
新潟市西蒲警察署、日本防災通信協会と連携し、日中に不審者が施設内に侵入した場合を想定し、非常通報装置や刺股を使用した防犯訓練を実施した。
- ・非常災害食の取り扱い
マニュアルの確認、非常災害食や災害グッズの保管場所の確認、炊き出し訓練を実施した。

□地域共生社会の実現

9月に開催された「岩室あなぐま芸術祭」では職員が企画段階から参加し、利用者の作品提供、施設を開放した障がい者スポーツ体験会を開催した。芸術祭期間中は利用者も温泉街を巡り、地域の一員として実感できる良い機会であった。また2月に開催された「岩室円卓会議」にも職員が参加し、岩室地域における施設の役割を考える機会となった。地域の方々が、施設や利用者に興味を持ってもらえた事、地域の方とのつながりが出来た事は大きな収穫であった。

□施設設備の更新

平成30年6月

- 療護浴室特殊浴槽更新（新潟労働局 職場定着支援助成金申請）
- デイサービス浴室介護浴槽設置（国土交通省 自動車事故医療体制整備事業補助金申請）
- デイサービス浴室改修工事

平成30年7月

- KHP-2号機空調機をEHP空調機へ入替

3 障害福祉サービス事業

■施設入所支援 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

定員50名 (ALS居室利用者は定員内数で利用する)

障害支援区分4 (50歳以上は区分3) 以上が該当する。

入退所動向

退所	平成30年	5月男性	8月男性	9月男性	11月男性	
	平成31年	3月男性				合計 5名
入所	平成30年	5月男性	6月女性	9月男性	11月女性	
	平成31年	2月女性				合計 5名

平成31年3月31日現在

性別	利用者数	障害支援区分				年 齢		
		3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	30	1	2	9	19	36歳7ヶ月	82歳0ヶ月	62歳11ヶ月
女性	20	0	1	5	13	27歳6ヶ月	77歳8ヶ月	60歳6ヶ月
	50	1	3	14	32	男女平均年齢 61歳11ヶ月		

平成30年度 施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	50	51	51	51	51	51	50	51	50	50	51	51
延べ人数	1494	1564	1502	1532	1525	1449	1505	1463	1497	1497	1398	1512
入院・外泊	2	15	4	32	12	18	24	35	52	40	12	47
稼働率 (%)	99.3	99.5	99.2	98.3	99.0	97.5	96.9	94.5	98.0	97.4	99.6	101.3

3月末時点で、定員50名に対して利用者50名となっている。

平成30年度の年間稼働率は98%

平成31年3月末待機者 男性 6名 女性 5名 計 11名

■生活介護 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

定員 58名

施設入所は区分4 (50歳以上は区分3) 以上

地域生活 (通所等) 区分3 (50歳以上は区分2) 以上が該当する。

支給量は施設入所、地域ともに月数-8日

営業時間は8:30～17:00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

平成31年3月31日現在

平成30年度 通所 登録利用者 31名

性別	利用者数	障害程度区分					年 齢		
		2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	19	0	3	4	6	6	21歳11ヶ月	68歳0ヶ月	52歳10ヶ月
女性	12	2	0	3	2	5	20歳0ヶ月	61歳11ヶ月	44歳11ヶ月
	31	2	3	7	8	11	男女平均年齢 49歳7ヶ月		

平成30年度生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1088	1153	1100	1149	1130	1044	1112	1072	1113	1121	1003	1133
通所利用者	203	228	229	226	242	234	237	230	208	210	210	238
延べ人数	1291	1381	1329	1375	1372	1278	1349	1302	1321	1331	1213	1371
稼働率(%)	74.1	79.0	76.3	78.6	78.4	73.4	77.1	74.8	75.5	76.1	72.1	78.4

平成30年度年間稼働率 75%

■短期入所 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度利用登録者数 32名 男性 17名 女性 15名

地区	男性	女性	短期利用の理由 (人)	特記事項
西蒲区	7	4	介護者の負担軽減(8) 本人希望(2) 虐待(1)	生活介護併用 (9)
西区	1	2	介護者の負担軽減(1)	生活介護併用 (1)
南区	2	0	介護者の負担軽減(1) 本人希望(1)	生活介護併用 (1)
燕市	6	7	介護者の負担軽減(10) 本人希望(2)	生活介護併用 (8)
加茂市	1	0	介護者の負担軽減(1)	
三条市	0	2	介護者の負担軽減(1) 虐待(1)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	21	21	22	21	20	22	19	21	19	20	18	21
利用日数	111	117	131	120	124	127	122	112	130	133	129	139

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

平成30年度年間稼働率 82%

半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所(Ⅱ)を算定。宿泊をともなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかからないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は随時介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

指定特定相談支援事業

地域連携相談室 すこやか 平成30年度事業活動報告

(1) 相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。」

- 指定計画相談支援
- サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数
4	8 (2)	6 (2)
5	6 (3)	3 (1)
6	6 (3)	7
7	6 (2)	12 (1)
8	9 (2)	4 (1)
9	9 (6)	5 (2)
10	5 (3)	8 (2)
11	7 (1)	5 (3)
12	2	6 (3)
1	1	10 (5)
2	0	12 (6)
3	0	9 (8)
合計	59 (22)	87 (34)

() は、かたくりの里入所者数

平成30年度かたくりの里入所者

計画作成件数 22件 モニタリング件数 34件

(2) サービス等利用計画作成対象者

【人員配置】 管理者 1名
相談支援専門員 2名（常勤専従1）（常勤兼務1）

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】 月～金 8:30～17:15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

- ・障害者支援施設かたくりの里 生活支援・入所支援係、地域支援係と連携した。
- ・西蒲区自立支援協議会への参加と共に、西蒲区障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携をはかった。
- ・新潟市西蒲区の相談支援センターと連携した。
- ・新潟市障がい者基幹相談支援センターと連携した。

4 職員体制

■人員配置

職 種 等	人数
施設長	1
医師（嘱託）	1
サービス管理責任者	3
看 護	4
作業療法士	1
生活支援員	39
管理栄養士	1
事務職員	2
運転員	1
特定相談支援事業	
管理者（兼務）	1
相談支援専門員	2

※生活支援員は兼務・パートを含む人数

人員配置による報酬算定状況

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算（1.7:1以上）
- ・福祉専門職員配置等加算（専門職員 26名）
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

※福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）6.9%を算定

■会 議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1回
運営会議	毎月 第2水曜日 16:30～
業務検討会	毎月 第1火曜日
職員会議	毎月 第3火曜日

5 生活支援課 業務報告

■生活支援係

□個別支援計画の取り組み

【活動内容】

- ・生活支援員が利用者を担当することで役割分担を行い、計画書の作成が円滑に実施できた。
- ・カンファレンスを利用者、及び生活支援員・看護師・作業療法士・管理栄養士・相談員等、各専門職種に参加にて実施したことによって、利用者のニーズに対して多職種で支援内容を検討しケアプランに反映できた。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを、前回作成したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。
- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催してケアプランの再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。
- ・意思疎通が困難な方への同意については、家族面会時の説明や家族宛に郵送で対応した。
- ・完成したケアプラン一式は、支援計画作成会議録と共に回覧した。

- ・ケアプランマニュアルの更新を行った。

【感想・課題】

細かなアセスメントがよりよい支援ためには必要であるが、その重要性や方法を職員に周知することがなかなかできていない。日常の支援で利用者に関して気付いた事を記録しアセスメントにつなげ、より良い個別支援計画を作りたい。

■入所支援係

【活動内容】

- ・利用者がよいよい生活を送れるよう、業務検討会、生活向上委員会にて決定した改善案を実施した。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用の為の支援を行った。

【感想・課題】

昨年に引き続き、利用者の入退所が多く、利用者の介助量や要望はますます増えてきている。必要に応じた業務の見直しをするとともに、目標を持って、日々の支援にあたっていきたい。

■地域支援係

□生活介護（通所）

今年度新規受け入れ者数 4名
今年度終了者数 4名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施
(実施区域 新潟市西蒲区、燕市、弥彦村)
- ・食事、入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援
- ・日中活動の提供
- ・個別支援計画の作成

日 課

9：00～ 送迎
10：00～ 施設到着・バイタルチェック・お茶
10：15～ 入浴・リハビリ
12：00～ 昼食・休憩
13：00～ 入浴・リハビリ
13：45～ 日中活動
15：00～ 送迎

□短期入所事業

今年度新規受け入れ者数 7名
今年度終了者数 10名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施
- ・入退所時の受け入れ

各種機関との連携

- ・ケース会議への参加
- ・西蒲区障がい者地域自立支援協議会への参加（年4回）
- ・特別支援学校実習生の受け入れ

【感想・課題】

（通所事業）

日々の業務に追われて、利用者と余暇活動で関わることが少なかった。しかし、リハビリ等の機能訓練を希望される方が増えてきたので、作業療法士と連携しながら生活支援員でもできる内容のリハビリは対応できた。

各曜日により、利用者数のバラつきがあり、短期入所と重なることで、通所の利用者が少ない日が何日かみられた。新規の利用者を受け入れることも考えていく必要性を感じた。

（短期入所事業）

受け入れ準備では、清潔さと使いやすさを心掛けて行った。また、入所支援係との連携で、利用者からの要望にはすぐ対応ができた。

長期間利用されていた方々が、施設入所や介護保険に移行されたため、稼働率が下がってしまった。入所利用者も高齢化によって介助量が増えているため、短期入所の食事・入浴介助を担っている。今後の新規の受け入れは、入所支援係と相談していきながら、施設全体で受け入れるための手段の検討をしていきたい。

□機能訓練

【活動内容】

1. リハビリテーションマネジメントの実施

- ・1日25名程度のリハビリテーション実施計画書に基づいた個別訓練を実施した。
- ・機能訓練室やベッド上での個別リハビリや自主訓練を行い、機能の維持・回復に努めた。
- ・その他、ビーズ手芸や編み物などの手作業を中心とした作業活動を提供し、作品を仕上げていくことで達成感を得つつ楽しく充実した1日になるよう工夫した。

2. 歩行補助具(車椅子や歩行器など)や日常生活用具(ストマなど)の申請・メンテナンス

- ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器を紹介することで、移動を快適に、かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
- ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。

【感想・課題】

今年度も訓練時の事故は無く、終わる事が出来た。利用者の身体機能の低下は最小限に抑えられたのではないかな。

新規利用者も増え、介助量も増えてきている中で、支援員の協力が重要になってくるが、多くの協力のもと、トラブルもなく行えた。

機能訓練と平行して行っている作業活動は、無理なく自分のペースで行えるように支援した。利用者のペースで出来る作業を提供した事で安定した参加を促す事ができたと思われる。今後も、身体機能維持と共に、生活の質の向上をめざし、様々な活動を提案、提供し、多くの方が安心して参加できる環境作りを心がけたい。

■療護係

□看護

【活動内容】

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを行った。
- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・必要に応じて臨時に受診した。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等で排便の介助を行った。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養滴下、注入、痰吸引等を行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物を管理し、処理の依頼をした。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎を支援した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前それぞれのトレーに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐために、薬を用意した人がチェック表にサインをした。別の職員（看護師か生活支援員）が薬の再確認しサインを行なった。
- ・昼の薬は看護師が、朝、夕、眠前の薬は介護職員が責任をもって利用者に投薬した。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回往診時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談をし、容体が悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助をした。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方を毎週1回行なった。
現在処方してもらっている43人の利用者を四つのグループにわけ、毎週月曜日にファッ

クスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。

- ・肺炎球菌予防接種の準備と接種の介助を4名行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・月2回、水曜日の午後往診していただき15人の方の主治医になっていただいた。10人の方のフォーレ交換と15人の方の薬の処方を依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。
- ・月始めの診療時に往診費と利用者の請求額を集金し支払いを行なった。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、介護スタッフに衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

- ・インフルエンザ予防接種

施行日：平成30年 11月

接種人数：利用者50名 職員55名

- ・健康診断 年2回

1回目実施日：平成30年8月30日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：49名

2回目実施日：平成31年2月28日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目：検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数：51名

胸部レントゲン撮影：22名

10. スタッフ研修の実施

- ・バイタル測定等の説明。
- ・新人職員へのオリエンテーション。
- ・ノロウイルス講習
- ・スキンケア講習
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価

11. その他

処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理。

【感想・課題】

- ・経管栄養を行う利用者が4名になった。
- ・大西先生に利用者の症状によっては他の医療機関への紹介状を書いていただき、スムーズに受診をすることができた。
- ・利用者の健康診断が昨年同様に行えた。
- ・今年度インフルエンザにかかった利用者0名、職員5名。感染性胃腸炎にかかった職員、利用者とも感染は見られなかった。
- ・利用者によっては、入院や手術などが数例あった。

入院状況一覧（平成30年4月～平成31年3月）

	入院治療	
	人数	期間（日数）
内科	9	173
神経内科	2	37
小児科	1	21
呼吸器内科	1	17
外科	1	11
皮膚泌尿器	1	6
計	15	265

病院別受診状況（平成30年4月～平成31年3月）

病院名	受診件数
大西医院	278
岩室リハビリ病院	181
ひらさわ歯科	139
県立吉田病院	81
安藤医院	81
佐潟荘	31
金子整形外科	24
渡辺耳鼻科	20
日本歯科大学	20
大島病院	12
後藤内科クリニック	10
西蒲メディカル病院	8
新潟大学付属病院	7
燕労災病院	6
おおくら耳鼻科	5
西新潟中央病院	4
新潟医療センター病院	4
もたにメディカルクリニック	3
さくらざわ眼科	3
坂井眼科	2
※その他	5
計 25カ所	924

※ その他	件数
いわぶち整形外科クリニック	1
金子内科医院	1
済生会第2病院	1
新潟市民病院	1
信楽園病院	1
計	5

■栄養

【活動内容】

1. 栄養ケアマネジメントの実施

利用者全員に対して栄養ケアマネジメントを実施した。

今年度中に、栄養面に問題があり高リスクと1回以上判定された利用者は16名であった。

高リスクと判定された要因は、“褥瘡”“大きな体重減少”であった。

2. 歯科医師と連携を図り、利用者個々に適切な口腔ケアを提供する

対象者は、歯科治療を希望した利用者、職員がチェックし歯科治療が必要と判断した利用者。定期的に受診、または、往診にて口腔ケアを行った。

頻度は、受診の場合は歯科医師の指示で月1回～3ヶ月に1回程度、往診の場合は月1回

3. 健康コラムを定期的に作成する

今年度は、行っていない。

4. 利用者一人ひとりのADL、嚥下や口腔、嗜好などを把握し、食形態を決定する

栄養ケアマネジメントを実施する中で、上記項目を実施している。

ご本人の気持ちと身体状況（嚥下レベル）とのズレがあり、固形食を食べることが難しい利用者が固形食を希望することがある。気持ちに寄り添って、事故が起きないように十分に注意し希望の食形態で食事を提供している。それでも経口摂取が難しくなった時は、嚥下レベ

ルに合った食形態の提供をしている。

5. 安全かつ衛生的に食事の提供を行う

異物混入は3件あった。

蜘蛛の死骸	洗って乾燥した白コップ内で発見。利用者に提供する前に気づいた。
3cmの毛	ムース食の主菜の上ののっていた。新しいものと交換した。
卵の殻	おでんの卵に付いていたらしく、利用者が咀嚼していて違和感があり、気づいた。

それぞれの予防策を委託会社にお願ひし、再発は予防できていると思われる。

厨房内の衛生管理は、委託会社がしっかり行っている。

6. 利用者の嗜好が配慮された献立または季節を感じる献立の作成

年間行事食の予定を立て、季節に見合った献立の提供ができた。

毎月開催される給食会議に参加した利用者からの要望や利用者全員対象の嗜好調査によって得た要望を献立に反映するよう心がけた。

今年度実施した行事食

月	行事	献立
4月	施設開所日（1日）	赤飯 天ぷら盛り合わせ など
	花見らしい献立（10日）	桜ごはん、若竹汁、桜餅風ようかん など
	昭和の日（29日）	懐かしい昭和のメニュー（ハムカツ&エビフライ）
5月	端午の節句（5日）	太巻き、いなり、柏餅 など
	手打ちそば屋台（31日）	かけそば 天ぷら など
6月	夏至（21日）	デザートの日（アイス）
	魚の日（22日）	鮎料理（選択メニュー）
7月	七夕（7日）	ちらし寿司、そうめん汁 など
	土用の丑の日（20日）	うな重
8月	山の日（11日）	バーベキュー
	お盆（15日）	白身魚フライ、エビフライ など
9月	重陽の節句（9日）	菊ご飯 など
	敬老の日（17日）	栗ご飯 など
	秋分の日（23日）	おはぎ など
	十五夜（24日）	饅頭 など
10月	16日（火）	ラーメン屋台（醤油・塩）
11月	5日（月）	すし屋台
	七五三（15日）	デザートの日（マロンババロア）
	勤労感謝の日（23日）	赤飯
12月	冬至（22日）	南瓜料理
	クリスマス（25日）	クリスマスメニュー（鶏肉の足、ケーキ）
	大晦日（31日）	大晦日メニュー、そば
1月	正月（1日）	おせち料理
	魚の日（3日）	海鮮丼
	七草（7日）	七草粥（非常食の粥を使用）
	鏡開き（11日）	さつま芋しるこ
	小正月（15日）	いなり寿司など

2月	6日(水) 節分(3日) バレンタインデー(14日) 鍋の日(13日～15日)	すし屋台 豆など チョコババロア 13日 味噌ラーメン鍋 14日 白菜の塩ちゃんこ鍋 15日 すき焼
3月	桃の節句(3日) 鍋の日(4日～6日) ホワイトデー(15日) 春分の日(21日) 15日(金)	ちらし寿司 など 4日 棚田鍋 5日 すき焼 6日 石狩鍋 デザート(キャラメルパンナコッタ) おはぎ すし屋台

7. 給食会議の実施

毎月第3木曜日、14時から実施。

内容：利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど

利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。

8. 嗜好調査

食事全般に関する調査

期 間：10月19日～29日に実施した。

対 象 者：入所50名 通所・短期利用者28名(実施期間中に利用された利用者)

回答者数：入所26名 通所・短期利用者22名

回 答 率：入所52.0% 通所・短期利用者78.6%

調査方法：聞き取り

内 容：①食事全体について(色合い、盛り付け、温度、味) ②料理について(味、匂い、硬さ)

③要望・意見

“食事の温度”について冷めているという意見があった。最近では、居室で召し上がる利用者が増え、配膳に時間がかかり、このような意見が出たものと思われた。

9. 健康教室

日にち	内容	担当	参加者数
4月	排便について	看護師	7名
5月	脳を若く保つ秘訣	作業療法士	8名
6月	食中毒の予防と手洗い	管理栄養士	12名
7月	誤嚥とは	支援員	2名
8月	熱中症について	支援員	3名
9月	乾燥について	支援員	5名
10月	冬の「かくれ脱水」に注意!	管理栄養士	11名
11月	インフルエンザについて	看護師	7名
12月	脳を守る10か条	作業療法士	6名
1月	口腔洗浄	支援員	5名
2月	花粉症について	支援員	8名
3月	大気汚染について	支援員	7名

【感想・課題】

- ・栄養ケアマネジメントを行っていて、“高リスク”の利用者情報を多職種と共有できていないと感じている。“高リスク”の利用者は、体調不良を発生し、突然の急変もあり得るので、次年度に向けては、ケース記録に残すなどして多職種との関わりを密にしていければと思う。
- ・歯科受診・往診で口腔ケアを行ってもらっている利用者は、一部である。自分で歯を磨けるが十分でなく、他者の介入が必要であるが、それを拒む人もいる。美味しく食べる、安全に食べる（嚥下）為には、口腔ケアは必須である。職員の介入が難しいようであれば、歯科受診を提案するなどして、利用者の口腔内の清潔に努めたい。
- ・食事の盛り付け、味付けについての意見・要望は、日々いただいている。その都度、委託会社に改善をお願いしているが、利用者に納得していただく程になっていない。見ため（盛り付け）や味付けは、美味しく食べていただく為には必須のことなので、今後も委託会社に相談し、利用者に「美味しい」と言ってもらえる食事の提供を心がけたい。
- ・次年度の行事食の寿司屋台や鍋料理を縮小してほしいと委託会社からお願いされているが、利用者やかたくりの里職員の意見を聞き、利用者の満足度を損なわない対応をしたい。
- ・利用者から、行事食の内容が毎年同じと指摘された。次年度から少しずつ変更していくことにした。また、利用者の要望を受けた行事食になればよいと思う。

■相談支援係

- ・サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- ・継続サービス利用支援の作成
- ・サービス利用調整
- ・かたくりの里生活支援係・入所支援係、地域支援係と連携
- ・医療機関や居宅介護事業所・福祉施設等との連携、サービス担当者会議の開催
- ・西蒲区自立支援協議会、西蒲区ケース検討会、西蒲区障がい者生活支援会議への参加
- ・西蒲区健康福祉課障がい福祉係、新潟市障がい福祉課と連携
- ・新潟市障がい者基幹相談支援センター、市内相談支援事業所、新潟市地域包括支援センターと連携
- ・相談支援専門員現任研修参加 1名
- ・地域連携相談室すこやか事業更新申請

【感想・課題】

- ・特定の利用者への対応時間が長くなってしまい、他の方のモニタリングが遅れてしまう事があった。
- ・計画を作成する上で、障がい特性に関する知識の必要性を感じた。
- ・障がい福祉サービスを含むさまざまな制度に関する知識不足を実感した。
- ・令和元年度の報酬改定に伴い、特定事業所加算Ⅳを取得したため、増収であったが、特定事業所加算Ⅳが令和3年3月までの期限つきなので、その後どうするか検討する必要がある。
- ・令和元年度からモニタリング実施標準期間が見直されるサービスがあるが、計画更新以降の対応になっていくので、計画的に進めていきたい。

職員の業務分担としての委員会活動報告

□権利擁護

平成30年度中期方針に基づき、権利擁護事業への取り組みを実施した。

1. 苦情・要望

	内容	件数
6月	他利用者に対して	1件
7月	他利用者に対して	1件
8月	ケアの内容	1件
9月	ケアの内容	1件
10月	その他	1件
12月	ケアの内容	1件
3月	ケアの内容	1件
計	年間苦情・要望件数	7件

年間苦情・要望総数 7件

毎月の職員会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。

苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 虐待防止対策

①身体拘束等の廃止に向けた取り組み

毎月の職員会議において、身体拘束等に関する報告を実施した。

個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。

【今年度の身体拘束解除状況】

入所者 1件

- ・9月中に検証を行い、10月に身体拘束解除に関するカンファレンスを行い解除となる。

通所利用者 1件

- ・8月から検証を行い、1月に身体拘束解除に関するカンファレンスを行い解除となる。

②虐待のチェックリスト

業務の振り返りチェックシートの実施

③不適切な支援に関する対応

マニュアル更新を行い、取り組みを強化した。

3. 権利擁護対策

①権利擁護に関する啓発活動

- ・意識向上ポイント（毎月の職員会議にて報告）
- ・法人の運営規程、倫理綱領、職員行動規範かの中から毎月1項目ずつを挙げ、職員に覚えてもらうよう周知した。
- ・スピーチロックについて周知した。
- ・虐待防止・業務の振り返りチェックリストの振り返りの集計結果と感想報告を実施した。
- ・職員向けの啓発ポスターを作成し掲示した。

②メンタルケア活動・・・10月 ボーリング大会

③成年後見制度利用支援

- ・施設として成年後見人との連携を図り、また利用者ご本人の意志確認の為、月1回以上の面談の同席や電話連絡を行った。利用者に特変があった場合は早急に連絡を行い、情報の共有を行った。
- ・金銭に関して月1回、出納帳の確認を成年後見人と行い、金銭の出し入れが適正に行われているか確認を行った。

【感想・課題】

- ・身体拘束解除に向けた取り組みで、検証を行い2件解除する事ができた。
- ・新たな試みとして、職員向けに啓発ポスターを作成し掲示した。今後も内容を考え継続して作成していきたい。
- ・苦情要望に関して、苦情として挙がって来ていないものに対しての見極めをどうしていくかが今後の課題である。

□安全

【活動内容】

1. 褥瘡対策検討

入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時は看護師の確認後に褥瘡診療計画を作成した。支援員（介助方法）管理栄養士（栄養強化の有無）NS（処置方法）OT（移乗、座位、臥位）について検討し周知した。

年間を通じて3名の利用者に褥瘡が認められた。

- ・発生から1か月で完治した。1名
- ・良化と悪化を繰り返している。1名
- ・現在完治しており、常に予防に努めている。2名

【感想・課題】

職員間の連携により、発見から完治に向けた褥瘡診療計画は速やかに作成されており、それに基づいて対応をすることによって、ほとんどの方は短期間で完治することができた。しかし、なかには同様の場所に何度も褥瘡ができてしまう方がおられるため、今後は、予防に努めるとともに褥瘡ができる根本的な原因を探っていかなければならない。

2. 特定行為について

事業者登録申請を行い、事業を開始し、現在は介護福祉士認定特定行為従事者により、研修を終了した1名の利用者に対しての特定行為を行っている。利用者のレベル低下に伴い、胃瘻造設者及び喀痰吸引を必要とされる利用者も増えてきているため、今後は特定行為の対象者全員に対応できる体制を整えていきたい。

3. 事故報告集計

発生件数 4件

①転倒事故 男性 70歳

【内容】

居室内の洗面所から、ベッドへ戻る途中にバランスを崩し転倒した際に、付近にあったテーブル

に左脇腹を強打した。その後、ベッドへ戻り、朝まで就寝された。起床後、介護職員に左脇腹の痛みを訴えたため、転倒したことが発覚した。看護師が確認すると、左脇腹に内出血見られ、強く痛みを訴えられていたため、整形外科に受診する。病院にて左肋骨骨折と診断された。痛み止めの内服薬が処方され、患部をベルト固定し、安静にするよう指示が出た。

【対策】

手摺りの場所や使用方法を再確認、手摺りの増設を行い、安全な移動方法や環境整備を行う。

【経過】

骨折も完治しお変わりなく過ごされている。居室内に手摺りを設置し転倒は見られていない。

②誤薬事故 女性 61歳

【内容】

夕食時、介護職員が本人の服薬介助を行った。服薬後に他利用者のものであることに気づく。ただちに看護職員へ報告し、服用した薬の確認を行い、バイタル測定を行う。服薬直後の本人の体調は特変なし。その後、看護職員が嘱託医に薬の確認を行う。嘱託医より、様子観察を行い、常用薬を服用するよう指示が出たため、服用して頂く。

【対策】

服薬する際は必ず声を出して名前、顔、朝昼夕を確認することを周知徹底し、確認作業の練習を実施する。

【経過】

その後、体調に変化なく、過ごされている。

③転落事故 男性 38歳

【内容】

居室よりうめき声が聞こえたため、介護職員が駆けつけると、車椅子から転落し、床にうつ伏せ状態で倒れているところを発見する。声掛けに対し、反応あるが、上唇から出血し、右前頭部は少し出血している状態であった。すぐに介護職員が止血処置を行い、救急車を要請し、病院へ救急搬送される。病院にて頭部CTを施行したが問題なし。上唇、右前頭部の傷はガーゼ保護を行い、帰園される。翌日には創部は止血しており、体調も安定していることから、再受診の必要はないと判断した。

【対策】

今後、職員が来るまでは、胸ベルトを外さないようお願いし、職員による一部介助を行う。進行性の疾患のため、今後のご本人のADL等の変化に十分に注意し支援にあたる。

【経過】

現在、傷も完治し、対策の実施により事故を防止できている。

④誤薬事故 男性 56歳

【内容】

朝食時、介護職員が本人の服薬介助を行った。服薬後に他利用者のものであることに気づく。ただちに看護職員へ報告し、看護職員が嘱託医に薬の確認を行う。嘱託医より、常用薬の投薬は中止し、経過観察するよう指示が出る。服薬直後の本人の体調は特変なし。

【対策】

- ・配薬チェック表に職員名を記入し、薬トレーから1名分ずつ薬を取り出し介助する。
- ・確薬の薬は配薬介助時に開封する。
- ・服薬直前に声出し確認をする。

【経過】

現在は体調お変わりなく、対策により誤薬事故も起きていない。

4. ヒヤリハットレポート集計

発生件数 100件

〈発生場所〉

場所	居室	食堂	浴室	トイレ	リハ	デイ	その他
件数	41	12	8	5	4	1	13

〈形態〉

形態	転倒	転落	誤嚥	誤薬	管抜去	離設	その他
件数	23	21	3	14	1	3	32

〈要因〉

要因	確認不足	技量不足	状態把握不足	環境整備不足	利用者不注意	その他
件数	29	2	18	9	12	7

【感想・課題】

誤薬の事故が今年度も2件あった。声出し確認、ダブルチェックを徹底して行ったが事故が発生しているので再度事故分析し対策の継続、新しい対策案を検討していく。

ヒヤリハットは昨年とほぼ同じ件数だった。来年度はリスクマネジメントの取り組みとして危険予知トレーニング(KYT)を用いてヒヤリハットの減少に繋げていきたい。

5. 感染症対策

- ・ 県が報告している「感染症週報」を毎週確認し、インフルエンザ等の流行期には、職員に手洗い、手指消毒の徹底を呼びかけた。
- ・ 手指消毒を強化する目的で、業務中は個々に手指消毒液を携行することにした。

①ノロウイルス食中毒対策

- ・ 施設内の消毒は、スーパー次亜水を使用していたが、年度途中からCELAに変更。
- ・ 以下、前年度同様の対策を実施した
汚物処理キット（汚物処理に必要なグッズが一式入った箱）、泡洗浄ハイター1000を購入し、全福祉車両、施設内（1Fに1ヶ所、2Fに2ヶ所）に配置した。
- ・ 今年度も施設内でノロウイルス食中毒、その他の食中毒の発生を防ぐことができた。

②インフルエンザ対策

- ・ 今年度、5人の職員がインフルエンザAに感染した。いずれも施設外の感染源から罹患しており、早々に受診や休暇を取ったことから、施設内流行には至らなかった。

【感想・課題】

今年度は、施設内でインフルエンザ等の流行がなかった。しかし、職員の感染症に対するリスク管理は乏しく、手指消毒液の携行をしていない職員がいる。次年度は、全職員が携行するよう周知したい。また、来年度も施設内でインフルエンザやノロウイルス食中毒が発生しないように注意する。

6. 備品・環境整備

①備品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注（オムツは除く）
- ・故障、破損物など修理依頼
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理
- ・衣類紛失チェック表の管理

②環境整備

【業務内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行する

年間活動

4月7・8日	廊下、居室ワックス清掃
4月22日	雨水濾過装置点検
4月23日	貯湯槽清掃
4月24日	サッシ、網戸清掃
5月	ベッドパッド、枕、布団交換（冬→夏）
6月	衣替え
6月12日	エアコンフィルター及び換気扇パネル清掃
8月	夏季大清掃
10月	衣替え ベッドパッド、枕、布団交換（夏→冬）
10月12日	サッシ・網戸清掃
11月 10・11日	廊下、居室ワックス清掃
12月	冬季大清掃
12月17日	浴槽水質検査
3月	備品管理簿チェック

夏季期間除いて・・・廊下、食堂の空気清浄加湿器フィルター清掃

【感想・課題】

- ・利用者の居室に貸し出しているファンヒーターや食堂の空気清浄器等のメンテナンスが時間的に余裕がなく滞る事が多かった。
- ・委員会としての大まかな業務をこなす事で手一杯で、施設内のこまかい環境の整備(棚や収納ケース、必要備品等)まで気付かない点多々あった。

③施設設備更新等

平成30年度中期方針に基づき、施設設備の更新を実施した。

5月	KHP-1号機空調機室外機修理 地下ピット排水ポンプ交換工事
6月	療護浴室特殊浴槽更新事業 デイサービス浴室介護浴槽設置事業

	デイサービス浴室改修工事 街路灯絶縁不良灯具取替工事、 外灯修理工事 温冷配膳車入替
7月	KHP-2号機空調機をEHP空調機へ入替 電機昇温貯湯槽修理
8月	居室用据置き型リフト購入 給水給湯ミキシング装置修理
9月	昇降機設備修理
10月	2階給湯室扉増設工事

【感想・課題】

開所から16年経過し様々な備品・設備等の老朽化が目立つ箇所が出ている。年度ごとに計画を立て備品・設備の改修を行ってはいるが、一度にすべては出来ないので利用者にご不便・ご迷惑をお掛けしていることが多々ある。限られた予算の中で無駄なく設備改修・備品の購入等をしっかりと行っていきたい。

7. 腰痛予防対策

ゆきわりの里幸田PTによる講習会を開催した。

30年10月16日 「5分でできる腰痛予防」

31年 3月15日 「すぐに結果が出る。肩こり、腰痛セミナー」

31年 3月25日 「すぐに結果が出る。肩こり、腰痛セミナー」

【感想・課題】

今年度は、ゆきわりの里幸田PTに協力して頂き講習会を行った。またゆきわりの里で行われた講習会にも参加させて頂いた。短時間でできるわかりやすいメニューで効果が期待でき、勉強になった。腰痛を抱えている職員も多いので、講習会を定期的に行って行きたい。ストレッチや準備運動の大切さを伝え、職員が習慣化できるようにしていきたい。

□生活向上

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表の更新、見直し
- ・入浴日、入浴時間の変更、検討
- ・入浴チェック表の作成
- ・物品の管理
- ・浴室環境整備
- ・マニュアルの更新

【感想・課題】

- ・療護浴室の給湯温度が安定しないトラブルが冬場に多くみられた。適宜点検、修理をお願いして対応するが、入所者からの苦情もあり、今後も状況の確認は必要。
- ・男性の特浴対応の入所者が増えたことで、入浴日や時間等を変更しながら対応した。

2. 排泄

【活動内容】

- ・オムツ交換時間の見直し、変更
- ・排泄チェック表の作成
- ・オムツ・パットの管理
- ・毎週のオムツ・パットの発注
- ・使用オムツの見直し

【感想・課題】

- ・居室にオムツやパット、清拭(お尻拭き)等が置いてあることが目立つようになった。その為、トイレ4にも排泄介助に必要な物品を置き、新たにホットウォーマーを設置し排泄介助がスムーズに行えるようにし、以前より排泄物品を居室に置くことが少なくなった。
- ・他の業務がスムーズに行えるようオムツ交換の時間を見直したり、オムツ、パットの無駄遣いを無くしたりする取り組みにも力を入れて行きたい。

3. 食事

【活動内容】

- ・食席の見直し、変更
- ・職員の人員配置の変更
- ・テーブルの見直し、環境整備
- ・居室配膳方法の変更
- ・月一回給食会議への出席
参加利用者の出席を促す
利用者から出た食事に関する意見の収集
- ・2月、3月に行われた鍋料理の食席の決定
- ・食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した。

【感想・課題】

- ・食事介助者増加の為、食席・人員配置変更した。今後は利用者の意見をもっと取り入れて充実した食事環境を作っていきたい。

4. 整容

【活動内容】

- ・マニュアルの更新
- ・顔拭きタオル利用者のチェック表作成・管理（髭剃りを含む）
- ・理容室利用者の調整（月2回）
- ・美容室利用者の調整、美容室との連絡調整（A社・・・月1回、B社・・・2ヶ月1回、C社・・・月1回）
- ・整容に関わる備品の整備
- ・口腔清掃の介助を行っている方のチェック表作成、管理
- ・口腔ケア用品の発注、管理
- ・歯とお口の治療管理表の伝達、管理
- ・歯磨き時の注意事項がある利用者は居室に「歯磨きの注意点」の図の掲示
- ・訪問歯科の訪問日の調整（管理栄養士）

【感想・課題】

- ・今年度、美容室1社と契約解除となり、2社で対応することになった。毎月1回来て頂いている美容室に相談依頼し、月2回来て頂くことで対応できた。
- ・通所利用者で新規に理容室を利用したい方も増えている為、相談しながら調整していく。

5. 購買、買い物サービス

①購買

- ・毎週月曜（むつみ屋）、火曜日（リハビリ病院売店）に購入希望のFAXを送り、水曜日（むつみ屋）、土曜日（リハビリ病院売店）に品物を受け取る際に、支払等の援助を行った。
- ・カワチャ様より施設に来て頂き、衣料品販売を行った。

②買い物サービス

- ・イオンの宅配サービスを利用。毎週水曜日に注文し、金曜日に品物が届く。

【感想・課題】

- ・むつみ屋、リハビリ病院売店での購入は問題なく行えている。
- ・イオンの宅配サービスは、利用をする方がほぼ決まっているが問題なく行えている。（新聞店の買い物代行サービスも利用している。）
- ・衣料品に関しては今年度より買い物支援を実施する予定もあった為衣料品販売は行わない予定であったが、行ってほしいとの声も聞かれたため秋頃にカワチャ様に来て頂き実施予定。

6. 移乗動作

【活動内容】

- ・スライディングシートを活用した安全・安楽な移乗方法の講習会の実施。
- ・スタンディングリフト講習会の実施。

【感想・課題】

- ・スタンディングリフトを使用する機会が増え、職員への使用方法の研修を実施した。
- ・トイレ用のソングを使用した介助を行っていたが、事前に講習はしていたが、間違った使用をしていることを入所者から指摘され、再研修を行い、随時対応することはできた。

□防 災

平成30年度中期方針に基づき、防犯・防災体制の確立に向けて取り組んだ。

【活動内容】

日付	実施内容	備考
4月	新規採用者向け洪水等の避難確保訓練 備品ポータブル電源点検	参加者3名
4月12日	非常通報装置点検（業者）	
5月15日	春期夜間想定避難訓練 春期避難訓練の反省と火災防火設備の説明（火災報知器、消火栓、防火扉等）	参加者3名
7月18日	非常通報装置点検（業者）	
9月	秋期総合避難訓練の打ち合わせ、説明	
10月	防火対象物の自主点検（排煙装置）	

10月16日	秋期総合避難訓練	参加者11名
10月17日	非常通報装置点検（業者）	
11月	非常食炊き出し訓練	
11月1日	備品ポータブル電源点検	
11月13日	防犯訓練	参加者10名
12月	洪水時の避難確保訓練	
1月22日	非常通報装置点検（業者）	
2月25日	緊急連絡網訓練（電話）	
3月	備品ポータブル電源点検	

【感想・課題】

- ・今年度、初めて防犯訓練を警察と連携し実施した。結果、課題が見え、刺股の管理方法等を検討する機会が出来てよかった。
- ・炊き出し訓練を実際に行うことで、炊き出しには時間がかかることが分かった。
- ・避難訓練参加者以外の人への伝達が不十分だった。来年度に向け、業務検討会で机上訓練を行い、各委員会で伝達してもらおう。
- ・マニュアルの見直しが必要だったが、出来なかった。

□研修

1. 研修

平成30年度中期方針に基づき、職員のキャリアアップ、研修制度への取り組みを行った。

【活動内容】

- ・研修マニュアルの管理
- ・施設内研修・法人内研修について開催の調整
- ・施設外研修への派遣、手続き
- ・新人研修について調整

①施設外研修

日付	研修・会議内容	場 所	出席者
5月17日	エルダー研修	新潟ユニゾンプラザ	武石
6月9日	相談支援専門員協会総会研修	新潟青陵大学	星野・相浦
6月11・12日	関ブロ総会・施設長会議・職員支助力アップ勉強会	メトロポリタン高崎	増田・大平
6月14日	介護リスクマネジメント講座	新潟テルサ	熊谷
6月25・26日	スタートアップ研修	新潟ユニゾンプラザ	池田
6月29・30日	社会福祉実習指導者講習	燕三条地場産センター	若月
7月5・6日	ネットワーク実践養成研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
7月9日	社会福祉施設新任職員研修	燕三条地場産センター	番場
7月12日	第三者評価自己評価研修会	新潟ユニゾンプラザ	亀山
7月19日	ボランティア受入施設担当者研修会	内野まちづくりセンター	吉田
7月23日	県身協職員研修会	ホテルイカヤ	織田島・中村
7月24日	衛生管理指導会	新潟市民プラザ	五十嵐
7月25日	安全運転管理者講習	西蒲地区交通安全センター	増田
7月27日	司法と福祉の勉強会	新潟市中央図書館	増田

7月31日、8月1日	身障協研究大会	グランキューブ大阪	亀山、海津
8月1・2日	職場研修担当職員研修（前期）	新潟ユニゾンプラザ	渡邊
8月2・3日	リフトリーダー養成研修	小田急第1生命ビル	河合・田川
8月22日	職場研修担当職員研修（後期）	新潟ユニゾンプラザ	渡邊
9月12日	省エネ補助金セミナー	新潟市産業振興センター	田村
9月14日	相談従事者現任研修（前期）	新潟県自治会館	相浦
9月14日	ストレスマネジメント研修	新潟ユニゾンプラザ	川瀬・本間
9月16・17日	高次脳機能障害心理療法セミナー（前期）	メイワサンピア	藤口・武石・五十嵐
9月19日	地域福祉フォーラム	スポーツ医科学センター	増田、武石、土田
9月26日	衛生管理指導会	新潟市民プラザ	五十嵐
9月27・28日	関ブロ職員研修大会	ホテルブエナビスタ	本多・熊谷
10月18日	第三者評価事業者説明会	新潟県自治会館	田川
10月19日	労務トラブル対応策	デンカビッグスワン	増田
10月24日	短期入所協力施設意見交換会	JA長野県ビル	藤口
10月25・26日	新潟県サービス管理責任者研修	新潟県自治会館	亀山
10月26日	県身協支援担当課長会議	ニューオータニ長岡	武石・田川
10月31日	伝える力研修	新潟ユニゾンプラザ	本間（隆）
10月30・31日	地域生活支援推進会議	ベルクラシック東京	吉田
11月1日	口腔ケア研修	新潟ユニゾンプラザ	富山
11月7・8日	スタートアップ研修	新潟ユニゾンプラザ	遠藤
11月7日	結核・感染症研修会	新潟テルサ	田辺
	企業づくりのためのセミナー	新潟テルサ	増田
11月12日	相談支援体制法人向けセミナー	新潟市役所本館	星野
11月13・14日	相談支援従事者現任研修（後期）	新潟県自治会館	相浦
11月15日	省エネ補助金活用術	NOCプラザ	田村
	看護職員研修	新潟ユニゾンプラザ	阿部
11月15・16日	新潟県サービス管理責任者研修	新潟県自治会館	亀山
11月16日	危険物事故防止研修	新潟市消防局	増田
11月28・29日	キャリアパス対応生涯研修課程 （チームリーダーコース）	燕三条地場産センター	堤
11月29・30日	災害福祉支援チーム員基礎研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
11月30日	危険物実務者研修	新潟県自治会館	田村
	県身協庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	亀山・川瀬
	特別支援教育研究会	新大付属特別支援学校	相浦
12月1・2日	高次脳機能障害心理療法セミナー（後期）	万代市民会館	藤口・五十嵐・武石
12月8・9日	にいがたフォーラム14in長岡	アオーレ長岡	増田
12月21日	福祉と芸術をつなぐラウンドミーティング	新潟ユニゾンプラザ	吉田
1月18～20日	スーパービジョン研修会	中央福祉学院	亀山
1月24・25日	障害者の生活支援研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
1月30日	介護に役立つ薬と病気の知識	新潟ユニゾンプラザ	河合・真柄
2月8日	障害福祉サービス管理者連絡会	万代シルバーホテル	増田・星野
2月14日	相談支援援助報告会	新潟医療福祉大学	高橋（達）

2月21・22日	関ブロ総会・施設長会議	ホテル国際21	増田
3月1日	県身協総会・施設長事務担当者課長会議	ニューオータニ長岡	増田・田村
3月4日	暮らしのルールブック活用講座	新潟市役所本館	増田・相浦・藍澤
3月6・7日	医療的ケア児コーディネーター研修	長岡療育園	田川
3月14・15日	経営セミナー	新霞ヶ関ビル	増田
3月26日	障がい者総合支援法説明会	江南区文化会館	星野

②施設内研修

日付	研修名	講師名	参加人数
5月～6月	特浴・チェアインバス講習会（6回）	ゆきわりの里職員	27名
6月20日	腰痛予防研修	ゆきわりの里幸田PT	4名
7月3日	食中毒研修	五十嵐管理栄養士	16名
7月18日	虐待防止・身体拘束廃止講習会	介護福祉士会 宗村様	14名
9月4日	リフト研修	田川・河合	10名
9月10日	ポジショニング研修	CAPE澤田様	2名
10月2日	感染症について	五十嵐管理栄養士	16名
10月16日	腰痛予防講習	ゆきわりの里幸田PT	10名
11月6日	非常食の炊き出し訓練研修	五十嵐管理栄養士	7名
	花王オムツの説明会	花王スタッフ	7名
12月19日	バーンアウト防止研修	介護福祉士会 西本様	7名
1月18日	第1回人材育成について	介護労働安定センター山岸様	11名
1月25日	第2回人材育成について	〃	12名
3月15日	第1回肩こり・腰痛予防セミナー	ゆきわりの里幸田PT	5名
3月25日	第2回肩こり・腰痛予防セミナー	〃	2名

【感想・課題】

- 施設外研修にほとんどの職員が参加することができ、それぞれ知識や技術を深めることができ、良かった。施設外研修に参加後、それぞれの委員会で伝達講習を行ったことで、施設でも取り組みたい内容を委員会で話し合うことができた。施設内研修での感染症や食中毒の研修についても、ほとんどの職員に行うことができて良かった。
- 新人職員マニュアルを更新し、より充実した新人研修を実施することができた。プリセプター制度を導入することで、指導職員も、共に成長することができた。
新人研修計画では座学と実地の計画表が分かれていたので、やりにくさを感じた。次年度の計画表は円滑に実施できるよう変更した。計画表に沿ってそれぞれの業務や知識・技術、仕事に取り組む姿勢等を理解できているかを、指導職員と一緒に評価してもらったので、その評価を基に一年間勤めての感想等を話す場を作っていきたい。
- 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）に職員1名を派遣した。
- 法人として人事考課制度導入に向けての検討を行った。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
7月30日～8月14日	日本こども福祉専門学校	保育実習	1名
8月20日～9月19日	新潟医療福祉大学	相談援助実習	1名
11月26日～12月7日	新潟青陵大学	介護実習	2名

□日中活動

平成30年度中期方針に基づき、地域共生社会の実現に向けて取り組んだ。

1. 日中活動

①趣味的活動

【活動日】 毎月の日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】 13:45～14:45

【活動項目】 カラオケ、手工芸、書道、調理レク、スポーツレク、映画、マッサージ、散歩

【感想・課題】

- ・職員数の確保が難しく、活動頻度が減ってしまい、各活動が月1回ペースになってしまったが、来年度は人員も増えるのでもう少し増したい。
- ・現在パート職員に頼っている部分も大きいですが、離床、誘導を全職員で協力していく。
- ・スポレク(ボッチャ、カーリンコンなど)は、特定の職員に頼っているため、来年度は担当職員を中心に頑張っていきたい。

②調理レク

【活動内容】

- ・職員、利用者と共に調理を行い、出来上がったものをおいしく頂く。

実施日	実施内容	参加数
4月13日(金)	ティラミス	28名
5月21日(月)	クレープ	31名
6月14日(木)	フルーツポンチ	30名
7月18日(水)	抹茶ゼリーパフェ	32名
8月13日(月)	かき氷	31名
9月18日(火)	おはぎ	36名
10月24日(水)	マロンケーキ	25名
11月22日(金)	りんごふわふわパンケーキ	24名
12月11日(火)	クリスマスケーキデコレーション	30名
1月30日(水)	フレンチトースト	25名
2月18日(月)	なんちゃってティラミス	25名
3月7日(木)	クッキー	28名

【感想・課題】

おいしく、ボリュームもあり良かったとの感想をいただき、概ね好評であった。利用者にもできることを行ってもらおう事で、調理に参加する機会を提供できた。

2. 外出支援

【活動内容】

- ・利用者の外出希望アンケートをとり、外出の実施を計画した。
昨年同様、外出先を委員会にて決定し、その中から選ぶ形式とした。

行 先	参 加 人 数									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	計
小新方面		2	5			1	2	1	1	12名
吉田方面	2	3		2		1				8名
弥彦方面								8		8名
岩室散策				2				2	1	5名
巻方面		2								2名
寺 泊					2					2名
新潟駅(電車)							2			2名

【感想・課題】

- ・アンケート結果の希望に沿って、計画した外出支援が予定通り無事に終了出来き良かった。
- ・昨年度の反省も踏まえ、同じ職員ばかりに負担がかからないよう、今年度はなるべく担当の職員が同行するよう意識して振り分け、他部署の職員やパート職員等の協力も仰ぎながら支援出来た。
- ・来年度は個別支援という形で外出支援を予定している。各利用者と担当職員で話し合ってもらい、利用者の希望に沿えるような外出支援となるよう、委員会としては、とりまとめや全体の把握、日程の調整等を行っていききたい。

3. ボランティア

【活動内容】

- ・ボランティア行事・施設行事の際のボランティアの依頼。
- ・にいがたし元気力アップサポーター制度登録。
入居者利用の傾聴ボランティア補助。
- ・個人ボランティアの活動のサポート

【ボランティア行事】

- マンドリン演奏会 4月18日(水)、7月11日(水)、11月8日(木)
ボランティア名：カリーネマンドリーノ 増本光雄様
参加人数：各日20名程度
- お茶会 6月20日(水)
ボランティア名：宗偏流 細山宗明様
参加人数：35名
- 機織体験会 10月11日、25日
ボランティア名：からむしや 市川様
参加人数：両日15名程度
- クリスマス会
ボランティア名：日本文理高校 吹奏楽部 学生9名、指揮・引率1名
参加人数：48名
- 門松作り 12月22日(土)
ボランティア名：岩室民族資料館友の会代表 棚橋宏様
参加人数：13名

○餅つき会 1月9日(水)

ボランティア名：山篠建設 渡辺一男様

参加人数：41名

【ボランティア保険】

- ・ボランティア活動保険加入者1名。

個人で継続的にボランティアをして頂ける方に、ボランティア活動保険の加入をお願いし、1名加入して頂いた。

【感想・課題】

- ・特に問題は無く終える事が出来た。行事ボランティアの他にも業務ボランティアの受け入れを積極的にできるように体制を整えていきたい。

4. 行事

○運動会 6月3日(日) かたくりの里食堂

【活動内容】

玉入れ、借り物競争、パン食い競争、利用者職員混合リレーの4種目を利用者は紅白のチームに分かれ、ご家族やボランティアの方々と楽しんだ。

【感想・課題】

- ・当日の職員配置を競技に集中してつけてしまったために、少し介助を待たせてしまう場面があったため、改善していきたい。
- ・ボランティアさんが多く集まってくれたので助かったが、役割的に余ってしまった印象であったので計画の段階でボランティアの役割を明確にできればと思う。
- ・進行はスムーズに行えたのでよかった。

○かたくり祭 10月15日(日) かたくりの里1階スペース

【活動内容】

- ・イベント：ダンス(キッズダンス、サルサなど)、カーリンコン体験
- ・他福祉施設による販売
- ・飲食類販売

【感想・課題】

- ・予想以上の来客で飲食スペースが足りなくなりそうであったが、他スペースを開放したことで対応できた。天気がよければ屋外での飲食も検討していきたい。
- ・地域のお店にもポスター掲示をお願いした事で、地域の方にも参加していただけた。
- ・利用者と一般の方が一緒に参加できるイベントを取り入れた事で、双方の理解が深まった。

○クリスマス会 12月21日(金) 日中活動スペース

【活動内容】

- ・吹奏楽演奏(日本文理高校 吹奏楽部)
- ・プレゼント贈呈
- ・ケーキ

【感想・課題】

- ・吹奏楽の演奏会は、なじみのある曲やクリスマスらしい曲も多く、盛り上がった。感動で涙を流している利用者もおられた。
- ・バスタオルとフェイスタオルを利用者家族より寄付して頂いたので、プレゼントとして贈呈

させていただいた。利用者にも好評であった。

- ・今年より、ケーキを地元のケーキ屋さんにお問い合わせすることにした。地域との交流を施設のイベントを通して行っていきたい。

5. 施設外行事

- オセロ交流会 7月11日(水) 新潟ふれ愛プラザ

【活動内容】

平成30年度県身協オセロ交流会に利用者3名が参加した。

【感想・課題】

- ・今回は、通所支援利用者だけの参加となったが、ご家族での協力を得ながら大きな問題もなく終える事が出来た。
- ・他施設の利用者と交流する様子がみられ、穏やかな雰囲気でも過ごされていた。来年も継続して参加して頂けるように調整していきたい。

- 保育園5歳児との交流会 6月7日(木) 岩室保育園 参加人数：5名

【活動内容】

岩室保育園5歳児と共に歌やふれあい遊びを楽しんだ。

【感想・課題】

- ・園児との触れ合いで利用者はとても喜んでいたのが印象的であった。
- ・初めての参加であったため、参加人数を少なくしたが、スペース的にも余裕があったので、次回は参加人数を増やしてみたい。

- 七夕会 7月6日(金) 岩室保育園

参加人数：6名

【活動内容】

園児による歌や踊りの発表や、ふれあい遊びを共に楽しんだ。

【感想・課題】

園児との触れ合い遊びの中で、涙を流して喜ばれる利用者もおられた。すぐ隣の施設で、園児が手を振ってくれたりするので、今後も参加していきたい。

- スポーツ交流会 10月2日(火) 新潟ふれ愛プラザ

【活動内容】

平成30年度県身協スポーツ交流会に利用者3名が参加した。

【感想・課題】

- ・3位に入賞できた上に、他施設の利用者様や職員と関わって楽しそうな様子が見られてよかった。
- ・参加予定の利用者が体調不良となり参加出来なくなり、別の利用者を選定するのに時間がかかってしまったので、候補者を上げておくと良い。
- ・会場にて食事をいただくので、食器や薬等を忘れずに持参する必要がある。

- あなぐま芸術祭 9月1日(土)～9月9日(日) 岩室温泉街

【活動内容】

- ・岩室地区で行われたあなぐま芸術祭に、4名の利用者が作品を出展した。
- ・出展の他に、作品鑑賞に希望利用者が参加した。
- ・かたくりの里にて、障害者スポーツ(ボッチャ、カーリンコン)の体験会を行った。

【感想・課題】

- ・今年、初開催の地域イベントに声をかけて頂き、参加する事ができた。岩室温泉街をめぐりながら作品を鑑賞できるというもので、利用者も普段めぐる機会が無かった温泉街をめぐることが出来た事は良かったと思う。
- ・地域の方が、施設や利用者に興味を持ってもらえた事、地域の方とのつながりが出来た事は大きな収穫であった。今後も継続していくイベントであるので、積極的に参加していきたい。

○共生フォーラム 10月20日(土) 巻地域保健福祉センター

【活動内容】

- ・事前会議参加（職員のみ）
- ・作品展示の提供と前日、当日の会場準備
- ・当日参加利用者1名、付き添い職員1名、会場手伝い職員2名で対応。

【感想・課題】

今年でファイナルとなり、一旦終了となったが、他施設との交流の場でもあったので、残念ではある。今後、別の企画で声がかかれば積極的に協力していければと思う。

○岩室産業祭り 10月21日(日) 岩室体育館

【活動内容】

- ・日中活動やリハビリで制作した作品の販売。
- ・利用者による販売補助
- ・当日参加者2名

【感想・課題】

- ・自分の作っているものが売れるところを見る機会がないので、今後も参加していきたい。
- ・地域活動として、利用者が施設外へ出る事は重要だと思うので、多くの利用者が参加できるように整備していきたい。
- ・当日参加したいという利用者の希望が無く、職員側から声をかけさせていただいたので、利用者が参加に興味を持てるような働きかけを行う。

□情報管理

【活動内容】

年月	情報管理	広報
30年4月	新年度マニュアルの発行	かたくり通信44号発行
7月		かたくり通信発行準備
8月		かたくり通信45号発行
11月		かたくり通信発行準備
12月		かたくり通信46号発行
31年1月	業務マニュアル更新開始	写真印刷・掲示・配布
3月	業務マニュアル編集	かたくり通信発行準備 写真印刷・掲示・発行

※通年

種類整理・管理、スタッフルームホワイトボード整理、PC内データ整理
行事等活動時の写真撮影

※随時

Facebook、ホームページの管理、更新

救急隊への情報提供カードの更新

新規入所者の情報整備

【感想・課題】

- ・広報誌に関しては、遅滞なく発行することができた。
- ・写真印刷・掲示・配布が滞ってしまった。来年度は計画的に配布できるようにしていきたい。
- ・行事等の写真が少なく、広報誌作成が困難なことがあった。来年度は情報管理委員を中心に撮影を行うが、他職員とも連携し撮影を行いたい。
- ・ホワイトボードの整理ができず、古い資料が貼付されたままになっていることがあった。来年度は活用方法を含め検討し、周知しやすい環境を作っていく。
- ・業務の手順書が更新されなかった。来年度は全利用者の手順書を見直した上、新規で作成し、随時更新を促していきたい。

□業務検討会

【活動内容】

平成30年度中期方針に基づき、第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービスの向上、業務の効率化等の課題や、運営項目における課題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は、業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1. 第三者評価・ケアガイドラインの活用について

今年度は業務検討会において、新潟県第三者評価基準についての説明会を実施し、メンバーによる自己評価を実施した。来年度は2021年の第三者評価受審に向けた取り組みを施設全体で取り組んでいく。

身障協ケアガイドラインの自己評価より抽出された課題についてPDCAサイクルを意識して検討を重ねることができた。

2. 課題検討について

ケアガイドライン等により抽出された課題についてPDCAサイクルを利用し、以下の課題について解決へ向けての取り組みを行った。

- ・ボランティアや実習生受け入れ時の事故への対応策
- ・短期入所利用時の体調不良者への対応について
- ・回覧文書の早期回覧について
- ・夕食後の流れについて
- ・利用者支援について
- ・食事時のおしぼり・お茶出しについて
- ・手荒れ予防の洗剤や手指消毒について
- ・2階給湯室での利用者事故防止について
- ・給湯室冷蔵庫の使用に関して
- ・配薬について

- ・ ナースコール対応用PHSの水没や落下による故障を防ぐ
- ・ 休日の金銭管理、ご家族からの書類等受け取りについて
- ・ 個別支援計画実施に伴うケース記録の記入について

3. 運営理念の検討

業務検討会を中心にかたくりの里の新たな運営理念を職員全員で検討し策定。

「HAPPY&ENJOY ～こころ豊かな暮らしを 地域と共にあゆむ～」を新たな理念とした。

4. 施設と利用者の話し合い

【活動内容】

- ・ 毎月、第4週目「利用者と施設の話し合い」を実施。実施する為の準備・段取り。
- ・ 月間予定表の貼り出し。

◎話し合い内容

実施日	参加数	内容
4月27日(木)	31名	おしぼり廃止や買い物代行、外出支援について
5月25日(木)	28名	お茶会について、利用者からの要望・意見
6月22日(木)	27名	買い物サービス、耳掃除、オセロ交流会について
7月27日(水)	31名	施設設備、新規入所者、スポーツ交流会について 利用者からの要望
8月24日(金)	29名	空調設備、かたくり祭、共生フォーラム、実習生について
9月28日(木)	33名	実習生、施設設備について、利用者からの質問
10月26日(木)	28名	職員動向、施設設備、権利擁護の取り組みについて
11月24日(金)	27名	食事時のお願い、換気、クリスマス会について
12月27日(水)	28名	職員動向、空調設備、餅つき会について、利用者からの要望
1月25日(木)	31名	職員動向、新規入所者、豆まき、鍋の日、衣料品販売について
2月28日(水)	25名	職員動向、新規入所者、外出支援について
3月24日(金)	29名	職員、利用者動向、施設設備について

6 外部行事参加状況

■下越地区県身協オセロ交流会

平成30年7月11日（水） 新潟ふれ愛プラザ（新潟県障害者交流センター）

<参加者> 3名（1チーム）

<結果> 予選敗退

■下越地区県身協スポーツ交流会（ボッチャ）

平成30年10月2日（火） 新潟ふれ愛プラザ（新潟県障害者交流センター）

<参加者> 3名（1チーム）

<結果> 3位入賞

■たすけあい・ささえあい・共生フォーラムin西蒲

平成30年10月20日（土） 巻地域保健福祉センター

<参加者> 1名

7 補助金・助成金 事業報告

■新潟市	平成31年度結核予防費補助金	17,440円
■新潟県共同募金会	平成29年度申請 温冷配膳車購入補助金	1,270,000円
■新潟労働局	職場定着支援助成金	1,500,000円
■国土交通省	自動車事故医療体制整備事業補助金	4,000,000円